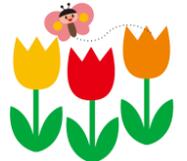


春のおすすめ絵本



長かった寒い冬から、春が来たように…気持ちもぼかぼか♪元気になる絵本です♡



「たまごの あかちゃん」 文／かんざわ としこ
絵／やぎゆう げんいちろう
出版社／福音館書店

卵の絵にむかって呼びかけます、「たまごのなかでかくれんぼしているあかちゃんはだあれ？でておいでよ」。すると、大きい卵、小さい卵、たくさんの数の卵の中から次々といろんな生き物の赤ちゃんが飛び出します。思わず口ずさんでしまいそうなりズミカルな文と、ユーモラスな絵が楽しめます。



「わたしのワンピース」 絵と文／にしまき かやこ
出版社／こぐま社

空から落ちてきた真っ白い布で、うさぎさんがワンピースを作りました。それを着てお花畑を通るとワンピースは花模様、雨が降ると水玉模様、次々と柄が変わります。日本を代表するファンタジー絵本。



「はっぱのおうち」 作／征矢 清 絵／林 明子
出版社／福音館書店

さちが庭であそんでいると、ぽつん、ぽつんと雨が降ってきました。雨やどりをしようと、葉っぱの屋根の下に入っていくと、そこには先にカマキリがいました。びっくりしているさちのところに、モンシロチョウ、コガネムシ、テントウムシと、小さな生きものたちがどんどんやってきて…。葉っぱにかこまれたおうちの中でのひととき、女の子と生きものたちとのささやかな交流を、優しく静かに描きます。



「そらいろのたね」 作／なかがわ りえこ
絵／おおむら ゆりこ
出版社／福音館書店

ゆうじが模型飛行機を飛ばしていると、きつねがやってきて「そらいろのたね」と模型飛行機を交換することになりました。そらいろのたねを植えて水をやると、なんと空色の家ができてきたではありませんか！空色の家はみるみるうちに大きくなり、たくさんの動物や鳥や子どもたちの楽しい遊び場になります。しかし再びやってきたきつねが、みんなを追い出して空色の家を独り占めしてしまいます。きつねが家にはいると、空色の家はさらに大きくなって…。

